

## A-2

『メディカルアロマ（手作り石鹸）で老人性乾  
皮症軽減！』

肌の変化

手作り石けん

掻痒感の軽減

ラベンダーアングスティフォリア入りの手作り石鹸

広島市安佐北区

特別養護老人ホーム 亀山の里

看護師リーダー 小田 裕美

看護主任 沖田 康子

介 護 士 吉高 伸彦

E-Mail [kameyama@katsugikai.jp](mailto:kameyama@katsugikai.jp)施設（事業所）  
またはサービスの  
概要

社会福祉法人かつぎ会は広島市安佐北区に平成 29 年に「施設は家庭・利用者は家族」という法人理念に基づき地域との連携を図りながら、全室個室合計 80 名（うちショート 10 名含む）でユニット型特養として立ち上げました。

## I. &lt;取り組み課題&gt;

施設入所の利用者複数の方が、身体の乾燥・痒み・湿疹・内出血の多さに日々何とか出来ないかという思いがあり本人様も辛い、夜間不眠の訴えもあり、このことに関して職員みんなが考える中で、メディカルアロマ健康管理というものがあると言う事を知人より教えていただきメディカルアロマセラピーを試してみようという考えに至りました

## II. &lt;具体的な取り組み&gt;

掻痒感と乾燥のひどい利用者様 3 名をピックアップして、医師も治療で使用できる成分分析された安全な精油を用いた手作り保湿石けんのみを使用し、皮膚の状態を観察していきました。

具体的には 8 月から 10 月までの 3 ヶ月間、今まで使用していた施設のソープは使用せず、メディカルアロマの手作り石けんのみを週 2 回の入浴時に使用していただき経過を見ていきました。

## III. &lt;活動の成果と評価&gt;

・A さん ご自身で掻かれることにより好発部位に出来ていた内出血や傷が目立たなくなり皮膚が綺麗になり、痒みの訴えが治まった。

・B さん 認知症もあり強い痒みの訴えにより夜間の不眠・不穏見られていたが、夜間帯の痒みによる不眠は軽減され体動も少なくなりました。

・C さん 今も掻き傷や痒みの訴えは続いているが、以前の肌質より改善が見られ乾燥している状態が少しずつ治まってきた。

＊ 3 名の共通点  
皮膚の乾燥状態が治まり保水力が戻り、もっちりとした肌になった。

## IV. &lt;今後の課題&gt;

メディカルアロマセラピーを継続していくためには、材料費が高コストなと作成するのに手間がかかる為、ご家族様と施設の支援と協力が必要となります。あと、有資格者のみしか石けんが作成できないため、有資格者を増やすというのも課題かと思われます。

## V. &lt;参考資料など&gt;

特定非営利活動法人 日本メディカルアロマセラピー協会